



# 「ほっとルーム」だより

第182号 令和5年10月1日発行  
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会  
( 子どもみらい課内 TEL 33-5618 )

## ネット・スマホのある時代の子育て ～児童・生徒編～ 保護者が 知っておきたい ④つの大切なポイント

学習面での活用が一気に増えてきたインターネットやスマートフォン。コミュニケーションや息抜き等、生活をサポートする道具だからこそ、トラブルを避けて上手に使いこなすスキルを身につけてほしいものです。

### Point1 時間の長さだけではなく中身に着目

#### 何にどのくらいつかっているのかを、一緒に確認しましょう

学習での活用も増え、子供のインターネット利用時間はより一層長くなっています。「いつまでやっているの!？」と頭ごなしに叱らず、子供がどんな使い方をしているのか、内容と時間を把握することが大切です。

利用時間や就寝時間を設定すれば、無意識の使い過ぎも防ぐことができますので、上手に活用しましょう。

便利ツール ➡ iPhone...スクリーンタイム  
Android...デジタルウェルビーイング

### Point2 オンラインゲームで起きているトラブルとは? ゲームプレイは“個”から“グループ”へ

#### 保護者と一緒にプレイしなくなる時期こそ、しっかり見守る。

一人で、リアルな友達とネット上のグループで協力しながら。ゲームは多様な遊び方があります。

高額課金やID乗っ取り等のトラブルだけではなく、誘う・誘わない、アイテムをもらった・もらわないでもめたり、一人抜けできず長時間プレイになったりといったことも生じています。

保護者は、子供がどんなゲームをしているか知っておくとともに、対象年齢に達しているかを確認したり、スマホやゲーム機のペアレンタルコントロール機能を活用したりして、子供の安全利用を見守りましょう。

### Point3 SNS等でのいじめや誹謗中傷、どう対処すべき?

#### 相談しやすい親子関係をつくり、話はじっくり聞いてあげる

子供が一人で悩みを抱えないためにも、普段から「困ったら何でも相談にのるよ」と声かけをしましょう。そうすると子供は相談しやすくなります。

相談されたときには、子供の話をじっくり聞いてあげてください。保護者が大騒ぎしてしまうと、相談しにくくなってしまいます。じっくり聞いたうえで「どうしたい?」と聞いてあげましょう。

誹謗中傷等のやり取りは、スクリーンショットなどで保存し、いつ何が起こったのかを明確に記録しておく対応がしやすいです。必要に応じて専門家にアドバイスを求めましょう。

気軽な投稿が、他人を傷つけるおそれがあること、インターネットにあげた言葉や写真等は、後から削除ができないことも、子供に伝えましょう。

### Point4 動画や写真は危険がいっぱい

#### 動画や写真の投稿で注意すること

面白がって撮ったり、友人・知人の情報が含まれるものを投稿することで、不快感やトラブルを生むこともあります。どんな投稿がトラブル原因になるか親子で考えてみましょう。

写真や動画の投稿サービスやアプリの多くは中学生以上が対象。

年齢に満たない子供の投稿は、保護者のアカウントで一緒に行うようにしてください。

～ほっとルーム～  
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654 FAX : 32-3124

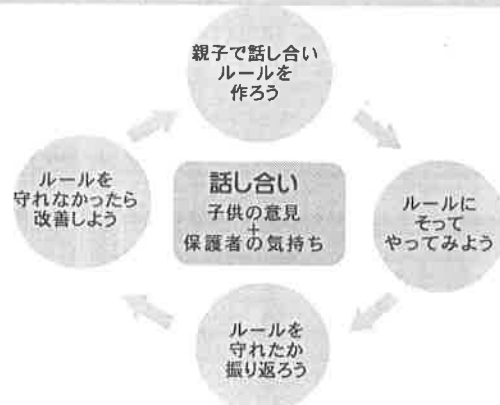
## 我が家のルール

## 子供の主張、保護者の意見を出し合おう

新しく自分のスマホ、自分のゲーム機、自分のタブレットを持つときは、ルール作りのベストのタイミングです。

ポイントは、親子双方が自分の意見をしっかり出し合うことです。お互いが主張し合い、少しずつ妥協しあって決めたルールは長続きます。逆に一方的に保護者が勝手に決めたり、子供のいいなりになったりすると、長続きしません。お互いが納得し、双方が尊重できるルール作りすることが重要です。

ルールが守れなかったり、子供が成長したり、生活習慣が変わったりするタイミングで、ルールの見直しをすることも大切です。

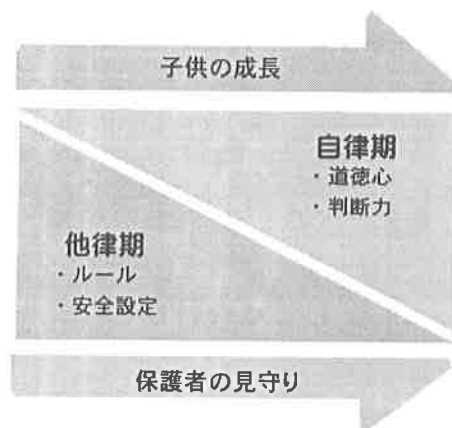


## 他律から自律へ

ルールを決める一方で大切なのが、自然体験や身体を使って得る実体験、人とのリアルなコミュニケーションです。様々な経験を積むことがインターネットの中で困ったり迷ったりしたときの、適正な判断力につながります。

乳幼児のネットルールは保護者が決める「他律」ですが、小学生、中学生、高校生と年齢が上がるにつれて少しずつ自分でルールを考えることができるようになっていき、大学生や社会人になると「自律」し、自分で管理します。

わたしたち大人は、子供たちが少しずつ自律していけるように手を貸してあげましょう。



※ 次号では、「ネット・スマホのある時代の子育て ～乳幼児編～」を掲載します。

家庭教育に関するアンケートへのご協力をお願いします。

家庭教育支援事業の充実を図るべく、家庭教育や子育て支援について、保護者の皆様のお考えやご意見をお聞かせいただきたいと思ひます。

ご多用中とは存じますが、アンケート調査にご協力をよろしくお願い致します。

## 子育てアドバイス

こだまでしょうか

金子みすゞ

「遊ぼう」というと

「遊ぼう」という。

「馬鹿」というと

「馬鹿」という。

「もう遊ばない」というと

「遊ばない」という。

そうして、あとで

さみしくなって、

「ごめんね」というと

「ごめんね」という。

こだまでしょうか

いいえ、誰でも。



## 県の相談機関

かごしま教育ホットライン24

☎0120-783-574

☎099-294-2200※携帯電話からはこちら

24時間子どもSOSダイヤル

☎0120-0-78310

PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて)

☎099-251-0309